

# ATOTO

Manufacturer: Shenzhen Aotule Electronics & Technology Co., Ltd

<https://www.myatoto.com> [support@myatoto.com](mailto:support@myatoto.com)

3B-1204, Tiananyungu, Bantian St, Longgang District, Shenzhen, China 518000

# ATOTO

ユニーク、より良い、信頼できる

## F7シリーズシステム操作マニュアル

### F7 WE

(ユニバーサルフィットまたは車両固有)

更新された情報 (最新の取扱説明書、システムの更新、新機能など)  
<https://www.myatoto.com> から入手できます。

著作権を含むすべての権利は留保されています

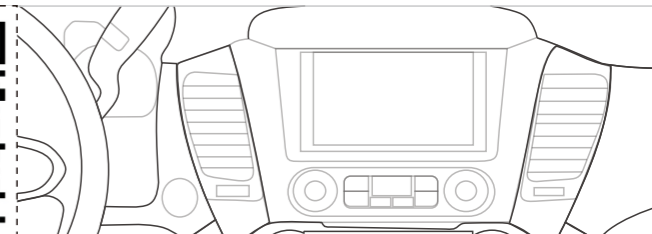


[support@myatoto.com](mailto:support@myatoto.com) <https://www.myatoto.com>

Manuals  
マニュアル  
Anleitungen  
Manuels  
Manuali  
Manuales  
Manuais  
Руководства



Updates  
更新  
Aktualisierung  
Mises à jour  
Aggiornamenti  
Actualizaciones  
Atualizações  
Обновления



## 使用前

- このマニュアルはすべてのATOTO F7モデルに適用されます。このマニュアルの特定の章で言及されている一部の機能は、選択したATOTO F7モデルでのみ利用可能です。新しくリリースされたF7モデルには、このユーザーマニュアルに記載されていない追加機能があるかもしれません。
- パネル操作、配線接続、およびインストールに関する詳細情報は、特定のF7モデルに関連してパッケージに含まれる特定のドキュメンテーションを参照してください。
- このマニュアルの情報は不十分な場合があります。このマニュアルでカバーされていないユニットの質問や問題がある場合は、ATOTOのディーラーにご相談ください。
- 何らかの理由でATOTOが偶発的、間接的、または結果的な損害またはその他の損害を含む、しかし、これに限定されない、利益の損失、収益の損失、データの損失、製品の使用の損失または関連機器のいずれか、ダウンタイム、および購入者の時間に対して責任を負うことはありません。この製品、そのハードウェア、および/またはソフトウェアの使用に関連して、またはそれに起因して発生します。

[EN]As an environmentally responsible company, we try to reduce paper consumption as much as we can. Scan the **Manuals QR code** on the cover to access our online manuals platform, where you can not only download all of our latest manuals in different languages, but also consult them more quickly by going to different sections with a finger tap. Scan the **Updates QR code** on the cover to update the system of your head unit.

[JP]環境に配慮した企業として、紙の消費量を可能な限り削減するよう努めています。表紙の**マニュアルのQRコード**をスキャンして、オンラインマニュアルプラットフォームにアクセスします。このプラットフォームでは、最新のマニュアルをすべてさまざまな言語でダウンロードできるだけでなく、指でタップしてさまざまなセクションに移動することで、より迅速に参照できます。ヘッドユニットのシステムを更新するには、表紙の**更新のQRコード**をスキャンします。

[DE]Als umweltbewusstes Unternehmen versuchen wir, den Papierverbrauch so weit wie möglich zu reduzieren. Scannen Sie den **QR-Code für Anleitungen** auf dem Cover, um auf unsere Online-Handbuchplattform zuzugreifen, auf der Sie nicht nur alle unsere neuesten Handbücher in verschiedenen Sprachen herunterladen, sondern auch schneller konsultieren können, indem Sie mit einem Fingertipp zu verschiedenen Abschnitten wechseln. Scannen Sie den **QR-Code für Updates** auf der Abdeckung, um das System Ihres Hauptgeräts zu aktualisieren.

[FR]En tant qu'entreprise respectueuse de l'environnement, nous essayons de réduire au maximum la consommation de papier. Scannez le **code QR pour Manuels** sur la couverture pour accéder à notre plate-forme de manuels en ligne, où vous pouvez non seulement télécharger tous nos derniers manuels dans différentes langues, mais aussi les consulter plus rapidement en accédant à différentes sections d'un simple toucher du doigt. Scannez le **code QR pour les mises à jour** sur la couverture pour mettre à jour le système de votre unité principale.

[IT]In quanto azienda responsabile per l'ambiente, cerchiamo di ridurre il più possibile il consumo di carta. Scansiona il **codice QR per i Manuali** sulla copertina per accedere alla nostra piattaforma di manuali online, dove non solo puoi scaricare tutti i nostri ultimi manuali in diverse lingue, ma anche consultarli più rapidamente accedendo alle diverse sezioni con un tocco del dito. Scansiona il **codice QR per Aggiornamenti** sulla copertina per aggiornare il sistema della tua unità principale.

[ES]Como empresa responsable con el medio ambiente, tratamos de reducir el consumo de papel tanto como podemos. Escanee el **código QR para Manuales** en la portada para acceder a nuestra plataforma de manuales en línea, donde no solo puede descargar todos nuestros manuales más recientes en diferentes idiomas, sino también consultarlos más rápidamente yendo a diferentes secciones con un toque de dedo. Escanee el **código QR de Actualizaciones** en la portada para actualizar el sistema de su unidad principal.

[RU]Как экологически ответственная компания, мы стараемся максимально сократить потребление бумаги. Отсканируйте **QR-код Руководства** на обложке, чтобы получить доступ к нашей онлайн-платформе руководств, где вы можете не только загрузить все наши последние руководства на разных языках, но и быстрее обращаться к ним, переходя к различным разделам одним касанием пальца. Отсканируйте **QR-код обновлений** на крышке, чтобы обновить систему вашего головного устройства.



## コンテンツインデックス

### コンテンツインデックス

1. ホームメニュー-----	01
2. 電話リンク- Apple CarPlay、Android Auto、AutoLink-----	02
3. ラジオ-----	08
4. ブルートゥース-----	10
5. モバイルメディア再生 (USB / MicroSD)-----	12
6. A/V入力-----	13
7. バックカメラ/フロントカメラ接続-----	13
8. 設定-----	17
9. 機能拡張-----	22
10. 付録 (製品仕様)-----	25

## 1.ホームメニュー



[図01]

A	ホームメニューに戻る
B	現在の表示を終了する、または音声源をオフにする
C	画面の明るさ調整。3つのレベルが利用可能です。ステータスバーの明るさアイコンをダブルタップすると、画面がオフになり、黒い画面が表示されます。画面をオンにするには、どこでもタップします。
D	電話のシグナルとバッテリーインジケータ (Bluetooth接続) 電話のバッテリーが30%未満の場合、電話のシグナルが赤くなる可能性があります。
E	Bluetooth接続状況インジケータ
F	システム時間
G	日付と時間
H	メディアウィジェット。現在アクティブな音声源がここに適用されます
I	主な機能オプション: Android Auto、ラジオ、モバイルメディアプレーヤー、およびCarPlay。
J	メニューリスト:すべてのシステムオプションがここにリストアップされます。アプリリストには、将来のUSB DVR機能のために保持されたDVR-CAMアプリが含まれます。

## 2.電話リンク-Apple CarPlay、Android Auto、AutoLink

## 2.1.Apple CarPlay

## 2.1.1 有線CarPlay接続

## 注意事項

- 有線Apple CarPlay機能には、最新バージョンのiOSが搭載されたiPhone 5以降が必要です。
- F7のシステムメニューには<Apple CarPlay>のオプションがあり、iPhoneが特定のUSBインターフェイスを介してATOTO F7に接続すると、Apple CarPlay接続モードになります。

## 接続手順:

**ステップ1:** iPhoneをF7のUSBポートに接続します。ほとんどのF7モデルでは、このUSBポートはF7の背面に<Phone Link>としてラベルが付いています。選ばれた5インチのF7モデルでは、このUSBポートは前面パネルにあります。

**ステップ2:**自動的にApple CarPlayモードになります。通常、iPhoneの画面にもCarPlayのアイコンが表示されます。

**ステップ3:**初回接続時には、電話の画面からポップアップウィンドウが表示され、<許可する>をクリックする必要があります。



[図02]

## 2.1.2 注意事項

(1).初回接続について: iPhoneがCarPlay機能をサポートしていること、及びCarPlayアプリが制限されていないことを確認してください。CarPlay機能が制限されていない場合、iPhoneの設定 (パス: 設定>一般>CarPlay) で表示されます。iPhoneでCarPlay機能が制限されている場合は、次のステップで有効にできます: 設定>画面使用時間>コンテンツとプライバシーの制限、<許可されたアプリ>をタップして<CarPlay>アプリを有効にする; または設定>一般>制限、パスワードを入力しCarPlayアプリを有効にする。どちらの方法が適用されるかは、電話のIOSバージョンに依存します。

(2).CarPlay接続には、電話に付属する工場製またはオリジナルのUSBケーブルを使用することが求められます。メーカー製以外のUSBケーブルを使用すると、画面が黒くなる、接続が不安定になるなどの接続問題が発生する可能性があります。

## 2.1.3 ワイヤレスCarPlay接続

## 注意事項

- (1)電話がF7に正常に接続できない場合は、電話のBluetoothリストから「F7」を削除してください。次に、以下の手順に従って再接続します。
- (2)ワイヤレスCarPlayは、iOS 9.0以降のiPhone 5以降のモデルで利用可能です。
- (3)電話がワイヤレスCarPlayをサポートしていない場合は、代わりに有線接続を使用してください。

## 接続手順:

**ステップ1:** iPhoneのBluetooth Wi-Fiを有効にします;

**注:** iPhoneとF7が他のWi-FiホットスポットまたはBluetoothに接続していないことを確認し、車が駐車状態(P)であることを確認します。

**ステップ2:** iPhoneからBluetoothを有効にし、F7のBluetooth名を選択してペアリングします。

**ステップ3:** 電話上のすべての連続したプロンプトを許可してセットアップを完了します(図04、図05、図06)

**ステップ4:** 接続が完了しました。F7は自動的にワイヤレスCarPlayモードになります(図07を参照) 図08のスイッチが有効になっているとき。



[図 03]



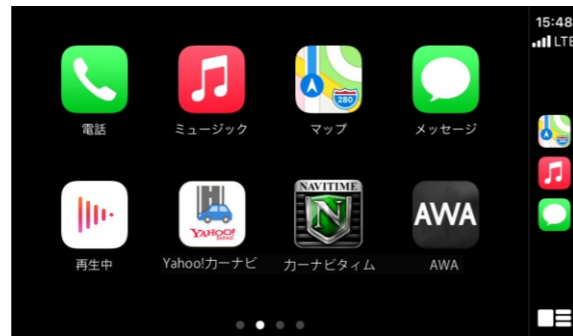
[図 04]



[図 05]



[図 06]



[図 07]



[図 08]

## 2.2.Android Auto

## 2.2.1 有線Android Auto接続

## 注意事項

- 6.0以降を実行しているAndroid電話と互換性があります。Android Autoはすべてのデバイスで利用できない場合があります。
- Android AutoをF7で使用する前に、Android電話に<Android Auto>アプリをインストールする必要があります。
- F7にもAndroid Autoオプションがあり、互換性のあるAndroidスマートフォンがそれに接続すると、Android AutoはF7スクリーンで動作します。

## 接続手順:

**ステップ1:** AndroidフォンをF7のUSBポートに接続します。ほとんどのF7モデルでは、このUSBポートはF7の背面に<Phone Link>としてラベルが付いています。選ばれた5インチのF7モデルでは、このUSBポートは前面パネルにあります。

**ステップ2:** 自動的にAndroid Autoモードになります。通常、電話の画面にもAndroid Autoアイコンが表示されます。

**ステップ3:** 初回接続時には、F7の画面が黒くなり、電話の画面からポップアップウィンドウ(図09参照)が表示されます。これらの要求すべてに<継続する>または<許可する>をクリックして設定を完了し、その後Android AutoがF7で実行されます;

**ステップ4:** Android Autoが接続されると、電話のBluetoothが自動的にオンになります。また、F7に<Android AutoでBluetooth接続が使用されるようになりました>というポップアップウィンドウが表示されます。



[図 09]

## 2.2.2 注意事項

- (1). Android Autoアプリは電話にインストールされている必要があり、電話の"Android Autoアプリ"へのすべての権限が有効になっている必要があります(設定>アプリ>Android Auto>権限)。<Android Auto>、<Google>、<Google Play Service>、<Google Play Store>のAPPバージョンは最新のものでなければならない。そうでないと、未知の問題が発生する可能性があります。
- (2). Android Auto接続には、電話に付属の工場製またはオリジナルのUSBケーブルの使用が必要です。メーカー製ではないUSBケーブルは、接続が不安定になるなどの問題を引き起こす可能性があります。
- (3). 電話で<Android Autoが応答を停止しました。続行するには、携帯電話をUSBケーブルから取り外し、再度接続してください>というプロンプトが表示された場合、初回接続時にすべての設定が完了していないことを意味します。電話のAndroid Autoアプリのデータとキャッシュをクリアし、電話を再起動して再度接続することをお勧めします。

## 2.2.3. ワイヤレスAndroid Auto接続

## 注意事項

- (1) 使用前に、お使いの電話でF7で有線Android Autoを利用できることを確認してください。
- (2) 使用前に、お使いの電話がワイヤレスAndroid Autoに対応していることを確認してください。ワイヤレスAndroid Autoは以下のAndroidバージョンと互換性があります:
  - Android 11.0以上の任意の電話;
  - Android 10.0を搭載したGoogleまたはSamsungの電話;
  - Android 9.0を搭載したSamsung Galaxy S8、Galaxy S8+、またはNote 8。
 お使いの電話がワイヤレスAndroid Autoに対応していない場合、代わりに有線接続をご使用ください。
- (3) お使いの電話で初めてワイヤレスAndroid Autoを使用する場合は、ワイヤレスAndroid Autoオプションまたはワイヤレスプロジェクションオプションがオンになっていることを確認してください。



(4) お使いの電話がF7に正常に接続できない場合は、F7でBluetoothのペアリング記録を消去し(選択したF7モデルでのパス:設定>Bluetooth設定>記録消去)、お使いの電話のBluetoothリストから「F7」を削除した後、上記の手順で再度接続を試みてください。

### 接続手順:

**ステップ1:**お使いの電話でBluetooth Wi-Fiを有効にします;

注意:お使いの電話とF7が他のWi-FiホットスポットまたはBluetoothに接続していないこと、および車がパーキング状態(P)であることを確認してください;

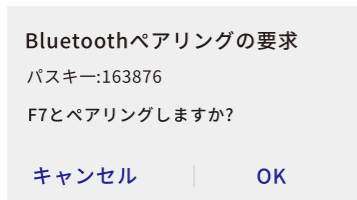
**ステップ2:**お使いの電話からBluetoothを有効にし、F7のBluetooth名を選択してペアリングします;

**ステップ3:**お使いの電話で表示される連続するプロンプトすべてを許可してセットアップを完了します(図11、図12、図13を参照)

**ステップ4:**接続が完了しました。図08のスイッチが有効になっていると、F7は自動的にワイヤレスAndroid Autoモードに入ります(図14を参照)。



[図 10]



[図 11]



[図 12]



[図 13]



[図 14]

### CarPlayとAndroid Autoの両方についての注意事項:

<1>. F7はCarPlay&Android Auto (CPAA)とローカルメディアアプリ(BT音楽/ラジオ/音楽/AUX)のオーディオを相互に包括的であると認識します。つまり、それらは同時に音を出力することができます。CPAAで地図を使用しながらラジオを聴いたりUSBフラッシュドライブから音楽を再生することができます。ナビゲーションとメディアのミックスボリュームを設定するには、8.3.4章のデュアルオーディオコントロールを参照してください。一般的に、CPとAAのナビゲーションアプリとメディアアプリは同時に実行できます。

<2>. F7は、CarPlay/Android Auto (CPAA)がバックグラウンドナビゲーションを提供しているときに、ローカル音楽(USB/SDカード音楽)、AUXオーディオ、またはラジオインターフェースがフォアグラウンドでアクティブである場合、通常のオーディオミキシングを実現することができます。しかし、CPAAがフォアグラウンドでアクティブであり、ローカル音楽がバックグラウンドで再生されている場合、オーディオのミキシングは行えません。

<3>. あなたは携帯電話からワイヤレスのCarPlay/Android Autoの接続を切断することはできますが、ヘッドユニットからは切断することはできません。

<4>. モバイルデバイスのバッテリーレベルを適切に保つことが重要です。デバイスが過熱している場合は、冷却するためにCarPlayから切断してください。なぜなら、電話のバッテリーが低下しているとCarPlayの接続に成功しない可能性があり、また電話が過熱するとナビゲーションディスプレイの不具合を引き起こす可能性があるからです。

<5>. F7にはさまざまなオーディオソースがあります。システムを再起動すると、F7はシャットダウン前に最後に使用されていたオーディオソースを表示します。

<6>. ワイヤレスAndroid Autoの接続中にWi-Fiが無効になると、接続が中断される可能性があります。ワイヤレスAndroid Autoを再設定するためには、Wi-Fiを再度有効にし、Bluetoothに再接続するか、またはAndroid Autoアプリをもう一度タップする必要があります。

### 2.3. AutoLink



[図 15]

#### 2.3.1. F7での動作方法

注意:画面ミラーリング接続を試みる前に、有線およびワイヤレスのCarPlay/Android Autoが切断されていることを確認してください。

#### 操作手順:

##### Android電話の場合:

- F7上のAutoLinkアプリケーションを開き、QRコード(図15-1参照)をスキャンして"Mirroring"アプリケーションをダウンロードします。"Mirroring"アプリをあなたのAndroid携帯にインストールしてください。
- オリジナルの携帯電話USBケーブルを使用して、AndroidフォンをF7のUSBポートに接続します。ほとんどのF7モデルでは、このUSBポートはF7の背面に<Phone Link>としてラベルが付いています。選ばれた5インチのF7モデルでは、これは前面パネルにあります。

(3). この時点で、下の図のようなポップアップウィンドウ(図15-2参照)が表示される場合があります。電話のミラーリングを開始するには、「今すぐ始めましょう」をクリックします。



[図 15-1]



[図 15-2]

iPhoneの場合:接続には追加のアプリは必要ありません。

操作手順は次のとおりです:

- (1). <AutoLink>アイコンをタップして、F7上でAutoLinkオプションを実行します。
- (2). オリジナルの携帯電話USBケーブルを使用して、iPhoneをF7のUSBポートに接続します。ほとんどのF7モデルでは、このUSBポートはF7の背面に<Phone Link>としてラベルが付いています。選ばれた5インチのF7モデルでは、これは前面パネルにあります。
- (3). 同時に、お使いの電話画面からポップアップウィンドウ(図16参照)が表示され、<信頼>をクリックするよう求められます。そして、デバイスパスワードを入力するように求めるポップアップウィンドウ(図17参照)がiPhoneに表示される場合があります。この場合、iPhoneの画面ロックパスコードを入力してください。



【図 16】



【図 17】

2.3.2 注意事項

- (1).AutoLink機能は、電話が最初にCarPlayまたはAndroid Auto機能をサポートすることを必要とします。これらの二つの機能をサポートしていない電話は、AutoLinkを使用することはできません。
- (2).AutoLink接続には、ユーザーが電話に付属の工場製またはオリジナルのUSBケーブルを使用することが必要です。メーカー製でないUSBケーブルは、接続障害や接続が不安定になる等の問題を引き起こす可能性があります。
- (3).電話のBluetoothがF7に接続されていることを確認し、確認してください。そうでない場合、お使いの電話でマルチメディアを再生したときにF7からオーディオが出力されません。

(4).AutoLinkは携帯電話のディスプレイ内容をキャプチャし、F7の画面に同時に表示します。お使いの電話が曲面ディスプレイ(図18)を持っている場合、F7にミラーリングされた表示はフルスクリーンではありません(図19);



【図 18】



【図 19】

(5). Android電話にMirroringをインストールする問題がある場合は、ATOTOカスタマーサポートに連絡してダウンロードリンクをリクエストします。ヘッドユニットのQRコードが期限切れの場合は、<https://resources.myatoto.com/>を訪れて、「Mirror-B-Mirroring」を検索し、「Mirroring」アプリをあなたのAndroid携帯にダウンロードすることも可能です(図19-01、1-02を参照してください)。注意: "Mirroring"アプリはAndroid携帯専用で、ヘッドユニットでは使用できません。



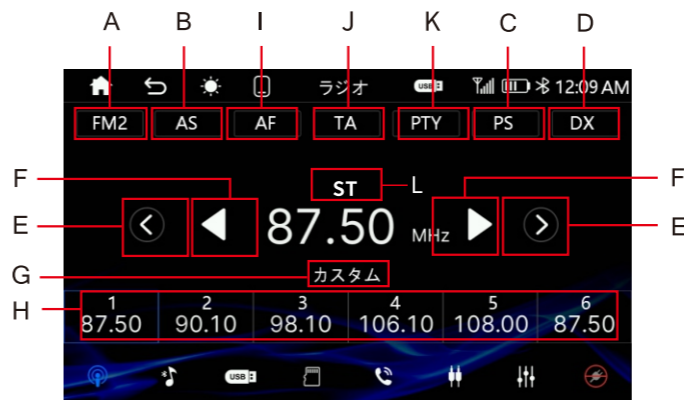
【図 19-1】

【図 19-2】

(6).電話の製造元が新しいシステムファームウェアをリリースすると、Mirroringアプリが新しい電話のファームウェアと適切に動作しない可能性があります。電話が更新された後に接続問題が発生した場合は、ATOTOカスタマーサポートチームに連絡して解決策を求めてください。

3.ラジオ

3.1.各オプションの機能



【図 20】

A	FMとAMのステーションリスト (FM1、FM2、FM3、AM1、AM2) を切り替えるには、 <b>FM1</b> をタッチしてください。
B	長押し <b>AS</b> で自動スキャンし、ステーションを保存します;
C	PS ( Prescan Search ) はプリスキャンサーチの略です。Prescan searchをタッチすると、スキャンされた各ステーションが3秒間再生されます。もう一度タッチすると停止します;
D	Dx/Local スイッチ。LOCはローカルの略です。このオプションを有効にすると、特にローカル周波数の処理が行われます;
E	資格のあるステーションを前方または後方に検索するには、 <b>◀</b> または <b>▶</b> をタッチしてください。
F	最も近い周波数に前方または後方にジャンプするには、 <b>◀</b> または <b>▶</b> をタッチしてください。
G	この場所は、システムが現在適用しているEQモードを表示します。
H	プリセットステーションリスト。18のプリセットFMラジオステーションと12のプリセットAMラジオステーションがあります。最初はすべて最初の周波数番号で埋められています。<AS>をクリックすると、新しく受信したラジオステーションが、このリストのデフォルトの周波数番号を置き換えます。
I	<AF> はAlternative Frequency (代替周波数) の略です。これは、最初の信号が弱くなりすぎたとき(例えば、範囲外に移動したとき)に、同じ局を提供する別の周波数にF7を再調整することを可能にするオプションです。
J	<TA> はTraffic Announcement (交通情報) の略です。これは、Radio Data System (ラジオデータシステム) 上で特定のタイプの交通情報を放送することを指します。
K	<PTY> はProgramme Type (プログラムタイプ) の略です。これは、ニュース、スポーツ、音楽ジャンル、トークショーなど、提供するプログラミングの種類によってラジオ局を検索できるようにするものです。特定のプログラムタイプを選択すると、ラジオはそのタイプのコンテンツを放送している局を検索します。
L	STが表示されている場合、これはステレオステーションであることを意味します。

## 3.2.ラジオ設定



[図 21]

選択可能な地域はヨーロッパ、ラテンアメリカ、北アメリカ、日本、ロシア、オーストラリア、中国です。

各地域では、ラジオの周波数範囲やスキャンのステップが異なる場合があります。間違ったラジオエリアを選択すると、ラジオ局の受信が少なくなる可能性がありますので、あなたの位置に基づいて正しい地域を選択してください。

エリア	FM帯域 (MHz)	AM帯域 (kHz)	Fmステップ (MHz)	Amステップ (kHz)
北アメリカ	87.5~107.9	530~1710	0.2	10
ラテンアメリカ	87.5~108	530~1710	0.1	10
ヨーロッパ	87.5~108	522~1620	0.05	9
ロシア	65~108	522~1620	0.03	9
日本	76~99	522~1629	0.1	9
オーストラリア	87.5~108	522~1710	0.1	9
中国	87.5~108	531~1629	0.1	9

注意:このデバイスを工場出荷時の設定にリストアすると、<ラジオエリア>もデフォルトのオプションに戻ります。もしもあなたの地域がデフォルトの地域オプションと異なる場合は、手動で選択することを忘れずに行ってください。そうしないと、正常に機能しない可能性があります。


## 3.3.注意事項

(1)もしラジオ画面に「TP探索」と表示され、お気に入りのステーションを聴いている最中に他のステーションに切り替わる場合、TPオプションがオンになっていることを意味します。TP(交通プログラム)は、定期的に交通情報を放送するステーションのみをユーザーが見つげるために使用されます。この機能が必要ない場合は、TAオプションをオフにしてください。

(2)F7は、その地域のラジオステーションがRDS(ラジオデータシステム)信号を送信している場合にのみRDS機能を備えています。RDS信号がない地域では、FM/AMが自動的に利用可能です。

	ヨーロ ッパ	ラテンア メリカ	北アメリ カ	日本	ロシア	オース トラリア
RDS	√	×	×	×	√	√
RBDS	×	√	√	×	×	×
AF	√	×	×	×	√	×
TA	√	×	×	×	√	×

現在、北アメリカに出荷されているカーカステレオは、RBDS機能をサポートしていません。ただし、将来の製品のアップグレードでこの機能が追加される可能性があります。詳細については、製品の説明書を参照してください。

(3)<Radio>オプションは、3つの独立したオーディオソース(<Radio>、<BTオーディオ>、<A/V In>)の1つとして使用されます。F7を起動するたびに、デフォルトのオーディオソースから自動的に再生されます。毎回ラジオを再生させたくない場合は、をクリックして終了してください。

## 4. Bluetooth

## 4.1 Bluetooth設定



[図 22]

- ①ここにカーステレオのBluetooth名が表示されます。アイコン③をタップして車のステレオから携帯電話のBluetoothを切断し、②をタップして再接続します。
  - ②をタップして再接続します。
  - ③をタップして再接続します。
  - ④<自動応答>これが有効になっていると、ユーザーからの操作がない場合、3秒以内に着信が自動的に応答されます。
  - ⑤<BT接続後にCPまたはAAを起動>これが有効になっていると、BluetoothとWi-Fiが正常に接続された後、CarPlayまたはAndroid Autoが自動的に起動します。
- 注意:Bluetoothの切断後、カーステレオにはBluetoothのペアリング記録が表示されません。

## 4.2 Bluetooth接続

Bluetoothはデフォルトで有効化されています。接続するには、単に電話のBluetoothをオンにし、リストからF7のBluetoothを選択します。接続が成功すると、F7画面の左上隅のBluetoothアイコンも点灯します。

## 4.3 Bluetoothハンズフリー



[図 23]



[図 24]





[図 25]



[図 26]

	手動で通話を開始するためのダイヤルパッド;
	通話を開始するためにクリックします
	最後の番号を削除します
	電話帳
	電話帳を更新するためにクリックします
	電話の通話記録がここに表示されます;
	Bluetoothオーディオストリーミングオプションに入るためにこれをクリックします;
	Bluetoothオーディオリモートコントロールボタン (AVRCP)
	通話記録ページで、通話履歴から希望の番号を選択し、 アイコンをタップして電話をかけます。

#### 4.4. 注意事項

電話が最初にブルートゥースオプション経由でF7に接続すると、F7はこのアイコンをクリックするとすぐに電話帳の同期要求を送信します。電話のすべてのプロンプトで<はい>を選択する必要があります。



[図 27]

## 5. モバイルメディア再生 (USB / MicroSD)

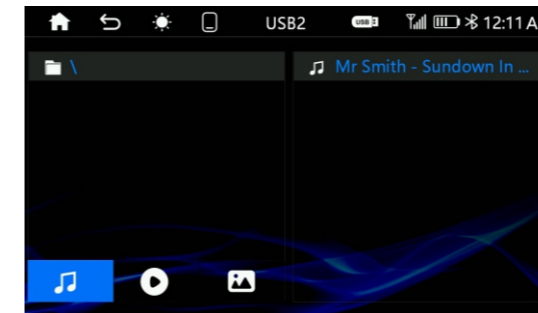
### 5.1 デバイス要件

MicroSDストレージ: 最大512GB; USBフラッシュドライブ: 最大2TB  
互換性のあるファイルシステム: FAT32、NTFS、exFAT。

### 5.2 それぞれのボタン/アイコンアプリの動作方法



[図 28]

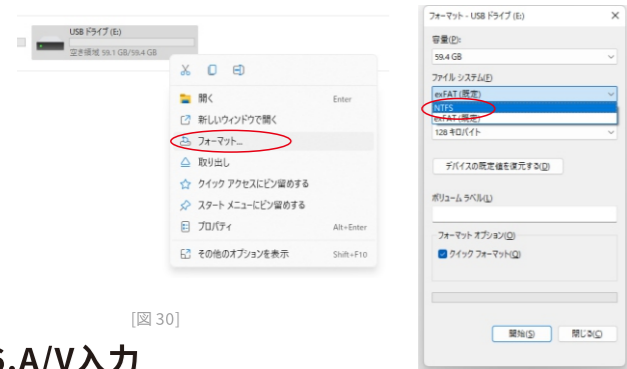


[図 29]

	短押しで前のトラックにスキップします。
	一時停止/再生ボタン。
	短押しで次のトラックにスキップします。
	全て繰り返し、一つ繰り返し、またはディレクトリを繰り返すの間を選択するために押します。
	<ランダム再生>と<順番再生>の間を選択するために押します。
	外部ストレージデバイス (USB/micro SD) から利用可能なファイルを表示するために押します。
	音声フォーマットによりフィルタリングされたファイルやフォルダ。
	ビデオフォーマットによりフィルタリングされたファイルやフォルダ。
	画像フォーマットによりフィルタリングされたファイルやフォルダ。

#### 注意事項:

- (1). このオプションでのオーディオ再生はメモリ機能を持っており、最後に残したところから再生できます。プラグイン後、毎回自動的にデバイスをスキャンし、外部ストレージの最新の音楽ファイルをすべてプレイリストに追加します。
- (2). メディアファイルがフォルダに整理されていて、他のフォルダのファイルを参照し再生する必要がある場合、デバイスに存在する全てのフォルダを参照するためにをクリックし、次にスクロールして希望するものを選択する必要があります;
- (3). USBまたはMicroSDを使用してシステムファームウェアを更新する場合、先に<FAT32>、<NTFS>、または<exFAT>にフォーマットしてから進めてください。そうしないと、アップデートプロセスが失敗する可能性があります。

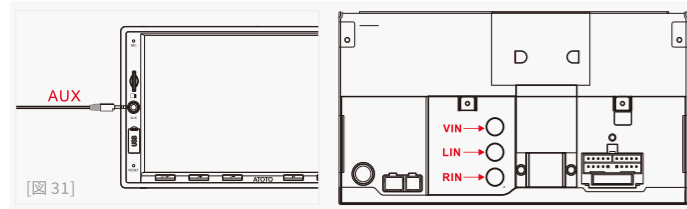


[図 30]

## 6.A/V入力

### 6.1 オーディオ/ビデオ入力

F7の裏面から3つのRCAジャックが出ており、これらはA/V入力接続用です - 一つはビデオ入力(<VIN>と表示されています)、他の2つはオーディオ入力(<LIN> & <RIN>と表示されています)用です。



[図 31]

選択したF7モデルでは、操作パネルに<AUX>ジャックもあり、これは裏面の<LIN> & <RIN>に相当し、3.5mmのオーディオ入力のみを受け入れます。注意：フロントの<AUX>とリアの<LIN> & <RIN>が同時に接続されている場合、それらのオーディオ入力は混在します。これを防ぐためには、フロントの<AUX>かリアの<LIN> & <RIN>のど

ちらか一方だけを唯一のオーディオ入力ソースとして使用することを推奨します。これにより、異なるオーディオソースが混ざる可能性を排除します。

### 6.2 動作方法

RCAジャックでオーディオまたはビデオ(または両方)の信号を出力できるデバイスに接続します。このオーディオやビデオ(または両方)を再生するためのアプリケーションは<ホーム>からの<AUX>オプションです。AUXケーブル接続の詳細については、パッケージ内の<パネル操作/ポート接続と設置手順>という別のユーザーマニュアルを参照してください。AUXビデオ再生は、車両が動いていないときにしか動作しません。電源ケーブルからの<駐車ブレーキ>ワイヤーが正しく接続されているか確認し、または<ビデオの禁止>オプションを無効にする必要があります。

## 7.バックカメラ/フロントカメラ接続

### 7.1 バックカメラ接続

#### 7.1.1.カメラ互換性要件

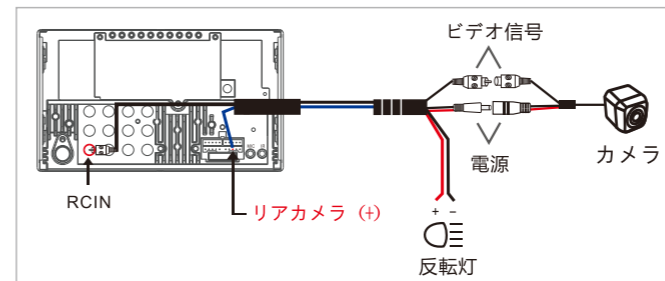
以下は互換性のあるカメラのリストです：

- (1). ATOTO AC-HD02LR 720P (アナログHD信号) バックビューカメラ；この製品モデルはLRV(ライブリアビュー)機能をサポートしており、車両がバックギアに入っていないときでも<R-CAM>オプションでバックビュービデオを視聴できます。
- (2). ATOTO AC-4486/AC-0587N (CVBS) バックビューカメラ；
- (3). 標準のRCAプラグ、CVBSビデオ信号出力、専用のバックアップ信号ワイヤーを備えたアフターマーケットのリアビューカメラ；
- (4). 標準のRCAプラグ、CVBSビデオ信号出力、ヘッドユニットに接続するための専用のバックアップ信号ワイヤーを提供できる車両の工場出荷時のリアビューカメラ；

#### 7.1.2.バックカメラ配線接続の2つの方法

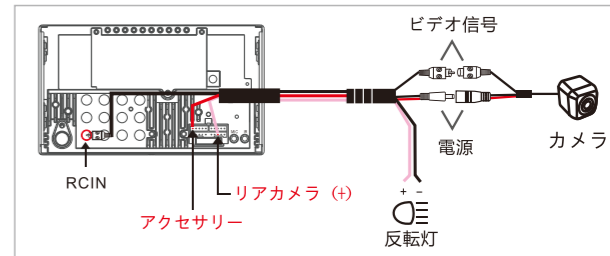
**7.1.2.1 一般的な/通常の配線方法：**車両をバックギアに入れたときだけ、画面上でバックカメラの画像を見ることができます。この方法は、7.1.1の(2)、(3)、(4)に記載されているカメラに適用します。

手順は次の通りです：(1).バックアップカメラの電源線をバックアップライトに接続します；(2).バックアップカメラのRCAケーブルをF7の裏側のRCINポートに接続します；(3).バックアップカメラの信号線をF7の電源ハーネスの<Rear Camera+>ワイヤーに接続します。詳細は図32を参照してください。



[図 32] (シャーシのレイアウトはモデルにより異なる)

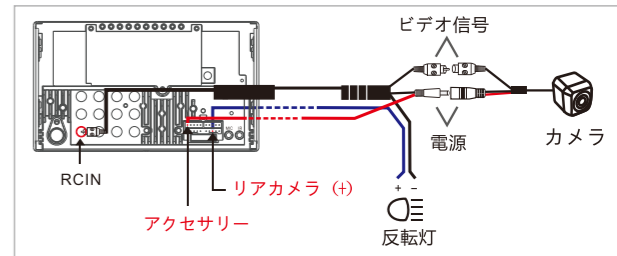
**7.1.2.2 革新的な/特殊な配線方法：**これは<ホーム>内に<R-CAM>オプションと関連するハードウェアサポートを持つ選択されたF7モデルでのみ利用可能です。この方法は、7.1.1の(1)に記載されたカメラに接続するのに適用されます。この配線方法を適用すると、車両をバックギアに入れたときに画面上でバックカメラの画像を見ることができます。また、車両がバックギアに入っていないときでも<R-CAM>でリアビューを見ることができます(通称ライブリアビュー、LRV)；配線接続の詳細については図33を参照してください。



[図 33] (シャーシのレイアウトはモデルにより異なる)

もし、典型的な/通常のリアカメラ(7.1.1の(2)、(3)、(4)に記載)でLRV機能を使いたい場合は、配線接続にいくつか変更を加える必要があります。

- (1).カメラの電源コードのプラス極をF7のACCワイヤーに接続し、バックアップライトではなく、カメラの接地ワイヤーは引き続きバックアップライトに接続することができます。
- (2).アフターマーケットのリアカメラの電源ワイヤーは距離接続に十分な長さがないため、ユーザーはリードを追加する必要があるかもしれません。
- (3).カメラの元々の電源ワイヤーがF7の<アクセサリ/点火>ワイヤーに経路変更されたため、<リアカメラ+>(F7電源ハーネスの一つのピン)とバックアップライトの正の電源ワイヤーの間に追加の延長ワイヤーを追加します。詳細については図34を参照してください。



[図 34] (シャーシのレイアウトはモデルによって異なります)



## 7.1.3 注意:

- (1).F7に接続するリアビューカメラは、バックアップライトの状態を通知するリバース信号ワイヤーを持っていないかもしれません。それがなければ、F7はいつスイッチを切るべきか分からず、車両がリバースギアに入ってもリアビューのビデオ表示が見えなくなります。
- (2).一部の工場出荷時のカメラのビデオ出力信号はCVBSタイプではないか、またはそのビデオ出力インターフェースはRCAタイプではありません。この場合、インストールを完了するために特定の配線コンバーターやビデオ信号コンバーターが必要です。
- (3).LRV機能を使用してリアビューにすばやくアクセスするには、適用可能な場合はステアリングホイールのキーをシステム設定でショートカットに設定することができます(設定>SWCキー)。これはストリーミングリアビューミラーとして機能し、運転の安全性を向上させることができます。これは選択したF7モデルでのみ利用可能です。
- (4).リアビューカメラは別売りです。

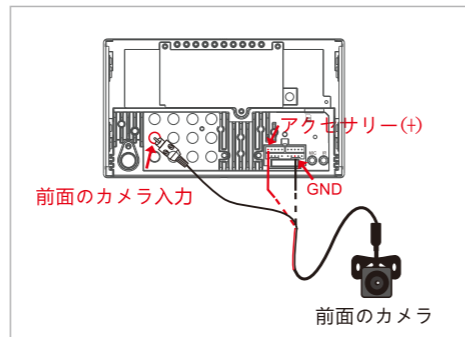
## 7.2 フロントカメラ接続

## 7.2.1 F7での動作方法

このオプションは選択したF7モデルでのみ利用可能です。F7には<FCAM>とラベル付けされた特定のビデオ入力と<F-CAM>というシステムオプションがあり、ユーザーは前方の状況を見るために互換性のあるカメラを車両の前面にインストールする必要があります。アフターマーケットのリアビューカメラもフロントビューに使用することができますが、ユーザーは延長ケーブルを追加してカメラの電源をバックアップライトからF7の<アクセサリ/点火>ワイヤーに変更する必要があります。そして、フロントカメラの画像を水平方向に反転させる必要があるかもしれません(7.3. カメラ設定を参照してください)。

## 7.2.2 カメラ配線接続

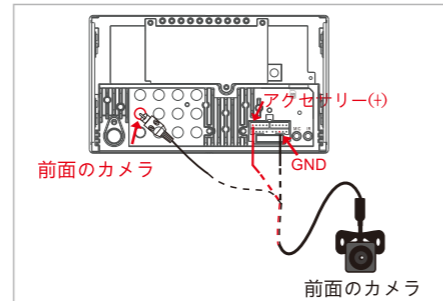
フロントカメラの正の電源ワイヤーを車のヒューズボックス内のアクセサリ/イグニッション(+12v)に接続します。フロントカメラの接地ワイヤーを車のヒューズボックス内のシャーシ接地(GND)に接続します。詳細は図35を参照してください。



[図35] (シャーシのレイアウトはモデルにより異なる)

## 通常のリアビューカメラをフロントビュー接続に使用する場合:

- (1).カメラの電源コードをF7のACC & 接地ワイヤーに接続し、カメラのリバースランプ検出ワイヤーは無視します。
- (2).ユーザーは距離接続のために追加のリードを追加する必要があるかもしれません。詳細は図36を参照してください。

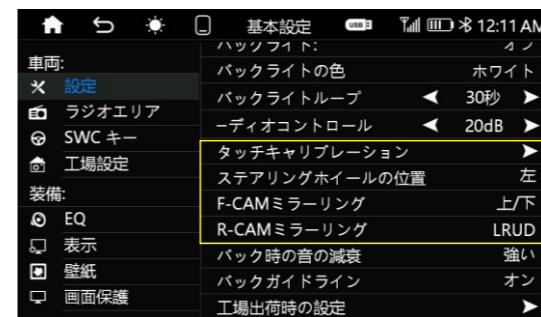


[図36] (シャーシのレイアウトはモデルにより異なる)

## 7.2.3 注意事項

- (1).フロントビューカメラは別売りです。
- (2).このオプションは選択したF7モデルでのみ利用可能です。
- (3).フロントビューにすばやくアクセスするには、システム設定でステアリングホイールのキー(適用可能な場合)をショートカットに設定することができます(ステアリングホイールコントロール選択>キー設定)。

## 7.3 カメラ設定



[図37]

**<F-CAMミラーリング>**: ノーマルビューまたはリバースビュー。このオプションを有効にすると、フロントカメラの左右、上下、またはLRUD反転画像が表示されます。左右、上下、またはLRUD反転を表示するフロントカメラに適用します。

"左右": 画像の左側にあったものが右側になり、その逆も同様です。

"上下": 画像の上部にあったものが下部になり、その逆も同様です。

"LRUD" (LRUDは「Left-Right-Up-Down左右上下」の略です): このオプションは画像を水平および垂直に反転させ、画像を基本的に180度回転させます。

**<R-CAMミラーリング>**: ノーマルビューまたはリバースビュー。このオプションを有効にすると、リアカメラの左右、上下、またはLRUD反転画像が表示されます。左右、上下、またはLRUD反転を表示するフロントカメラに適用します。

**OFF(オフ)**: リバースにシフトしたときにオーディオ音量を減らすオプションはありません。

**ミュート**: リバースにシフトするとオーディオが完全に消音されます。

**強**: オーディオ音量を若干下げるため、オーディオ音量は比較的高いです。

**中**: 音量を適度に下げます。

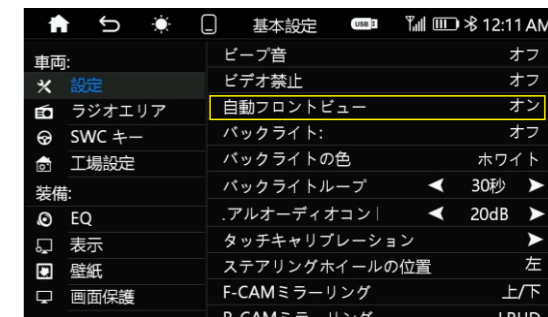
**弱**: 音量を大幅に下げるため、オーディオ音量は比較的低いです。

**<バックガイドライン> オン/オフ**

リアカメラの画像が表示されるときに画面上にガイドラインを追加するこのオプションを有効にします。表示にガイドラインがないリアカメラに適用します。

**注意:**

- 1.バックアップガイドラインは調整できません。
- 2.ビデオ再生中にリバースにシフトすると、ビデオは一時停止します。



[図38]

**<オートフロントビュー>オン/オフ**

リバースから前進ギアにシフトしたときに自動的にリアビューからフロントビューに切り替えるこのオプションを有効にします。これは、狭いスペースから出るのを助けるために使用します。

## 8. 設定

### 8.1 システム設定

#### 8.1.1 言語

15の言語オプション: 英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語、日本語、イタリア語、ポーランド語、韓国語、トルコ語、簡体字中国語、繁体字中国語、アラビア語。新しい言語は将来のファームウェアアップデートで追加される可能性があります。

#### 8.1.2 日付と時間



[図39]

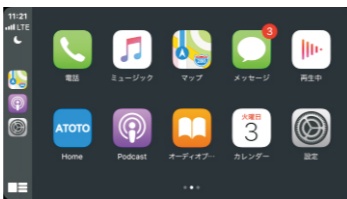
- 日付、時間、時間形式(24時間制、12時間制)を設定します。
- 手動での時間設定に加えて、F7では<Android Auto>、<CarPlay>、またはBluetooth接続を介してシステム時間を更新することも可能です。

#### 8.1.3 ビープ音:

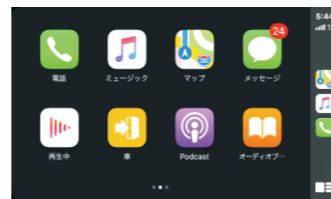
タッチサウンドスイッチをタッチします。このオプションを無効にするか有効にするにはクリックします。

#### 8.1.4 ステアリングホイールの位置

このオプションを使用すると、Apple CarPlayの表示レイアウトを左ハンドル/右ハンドルの車両に適応させることができます。



[図40]



[図41]


#### 8.1.5 ステアリングホイールコントロール

**SWCキー:**このオプションを使用すると、ステアリングホイールコントロールキーを手動でマッピングまたはカスタマイズできます。



[図42]

#### マッピングプロセス:

- ステップ1:**ステアリングホイールのキーを押し続けます。  
**ステップ2:**次に、カーステレオに表示される対応するキーを短く押します。選択したキーのフレームが青くなると、マッピングが成功したことを意味します。  
**ステップ3:**残りのキーも同様の操作でマッピングします。  
**ステップ4:**完了したら、「OK」をタップしてすべてのキーマッピングを保存します。保存されている設定をすべて削除してキーを再マッピングする場合は、 アイコンをタップし、上記の手順に従って再度開始します。

#### 注:

この機能を利用するには、あなたの車が工場出荷時のステアリングホイールオーディオコントロールオプション(略してSWC、抵抗式アナログ信号入力のみに基づく)を持っている必要があります。あなたの車がデジタルCANBUSデータ信号を使用しており、サードパーティのサプライヤーから適用可能なデジタルから抵抗式への変換器を見つけることができる場合、SWC機能は依然として保持することができます。SWC関連の配線接続についての詳細は、パッケージ内の2つ目のユーザーマニュアル<パネル操作/ポート接続と設置手順>を参照してください。

#### 8.1.6 工場出荷時設定のリセット

この操作はすべてのユーザー設定を消去することに注意してください。このオプションを使用すると、すべての個人データと設定を削除してシステムを工場出荷時の設定に戻すことができます。

\*あなたのプライバシーを保護するために、この製品を返品する必要がある場合は、返品または交換を依頼する前にデバイスを工場出荷時のデフォルトにリセットすることを推奨します。

#### 8.1.7バージョン/システム更新



[図43]

ATOTO F7のリリース後、我々は定期的にシステムファームウェアをリリースし、最適化して改善し、その最高のパフォーマンスを確保します。新しいシステムファームウェアの更新が利用可能になった場合、<https://www.myatoto.com/>のウェブサイトの通知セクションに通知が掲示され、詳細な更新手順が提供されます。ユーザーがユーザーアカウントを登録することをお勧めします。これにより、可能なアップグレードのメール通知を受け取ることができます。

## 8.2 ディスプレイ設定

### 8.2.1 ディスプレイ



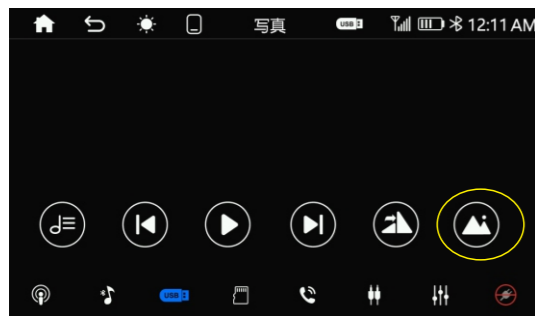
[図44]

画面の明るさ、コントラスト、彩度を調整するにはスライドします。

## 8.2.2 壁紙



[図45]

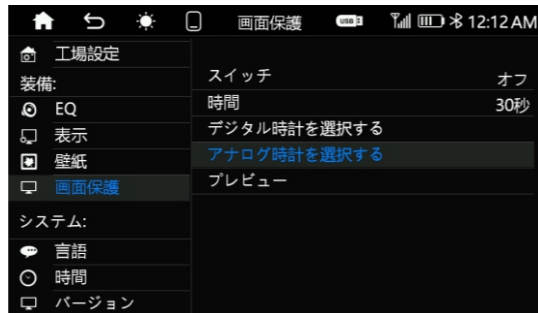


[図46]

## F7の壁紙を設定する2つの方法

- プリセット: プリセットの壁紙があり、選択するとすぐに適用されます。
- 手動で追加: システムでは、ユーザーが適格な画像をUSBフラッシュドライブまたはMicro SDカードに入れることができます。画像を選択し、円形のアイコンをタップして壁紙に設定します。

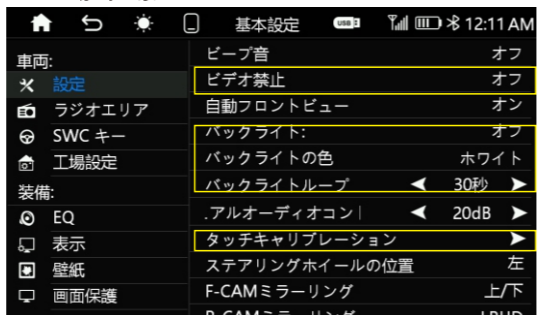
## 8.2.3 スクリーンセーバー



[図47]

スクリーンセーバー機能をオンまたはオフにするオプションがあります。画面がアイドル状態のときにスクリーンセーバーが有効になる時間を設定することもできます。スクリーンセーバーの時計のスタイルを選択すると、選択したスタイルをすぐにプレビューすることができます。

## 8.2.4 動画の禁止



[図48]

(1).あなたの安全のため、車を運転中は動画を視聴することはできません。F7の背面から<駐車ブレーキ>とラベル付けされた特定のケーブルがあり、あなたの車のハンドブレーキの状態を検出します(該当する場合)。これが正しく接続され、このオプションが有効にされていると、あなたの車が動いている間はビデオ再生画面に通知が表示され(図49)、車が停止しハンドブレーキがかけられたら通知が消えます;



[図49]

(2).このオプションは、<AUX>、<F-CAM>を実行する場合、または<Mobile Media Playback>オプション経由でビデオを再生する場合にのみ適用します。

## 8.2.5 バックライト

パネルキーのバックライトをONまたはOFFにするオプションがあります。パネルキーの色を黄色、青、緑、白、紫、赤、シアン、ループから選択します。"Loop"がバックライトカラー設定で選択された場合、パネルキーは上記の色を連続的にループします。ループ内の各色の持続時間は1から30秒に調整できます(図48を参照)。

## 8.2.6 タッチキャリブレーション

タッチキャリブレーション機能の目的は、カーステレオインターフェース上のテキストの位置がタップ時の実際の応答位置と一致するようにすることです(図48を参照)。

## 8.2.7 ログ設定



[図50]



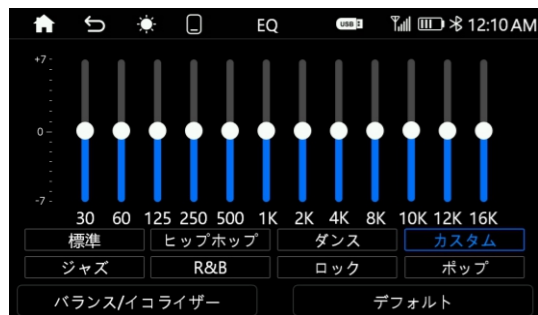
[図51]

工場設定'に移動し、パスワード2860を使用してロゴ設定インターフェースにアクセスします。ロゴを設定するための2つのオプションがあります:

1. **内部ストレージ:** 内部ストレージから直接ロゴを選択します。
2. **外部ストレージ:** あなたの車のロゴが内部ストレージにない場合、あなたの車のロゴのJPG画像を作成し、それを"Logo"という名前のファイルに保存します。この"Logo"ファイルをUSBドライブまたはMicro SDカードに転送し、F7はそれを外部ストレージのロゴとして認識します。

### 8.3 オーディオ&EQ設定 (EQはイコライザーの略です)

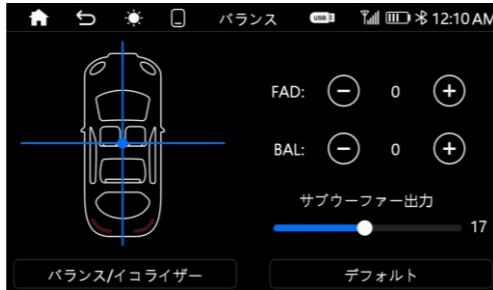
#### 8.3.1 EQ



[図52]

7つのプリセットEQ音響効果は<標準>、<R&B>、<ロック>、<ポップ>、<ヒップホップ>、<ジャズ>、<ダンス>です。プリセットの中から任意のものを手動で変更すると、自動的に<Custom>に保存されます。デフォルトをタップしてリセットします。

#### 8.3.2 バランス/イコライザー



[図53]

または [ ] にタッチするか、 [ ] アイコンを移動してリスニングポジションを調整します。

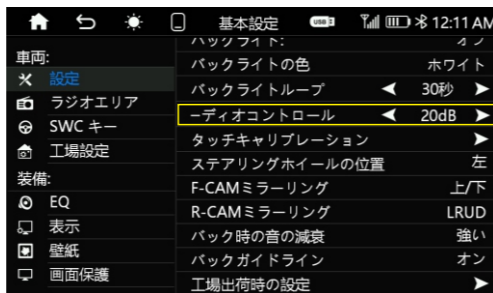
フェード(FAD)の値: フロント7-リア7

バランス(BAL)の値: 左7-右7

#### 8.3.3 サブウーファー出力:

外部サブウーファースのボリュームを調整するためにタッチします。

#### 8.3.4 デュアルオーディオ制御:



[図54]

ナビゲーションをCP/AAで実行している間に、ラジオを聴くか、USBフラッシュドライブから音楽を再生するためのメディアボリュームを0dBから15dBに調整します。

## 9.機能拡張

多数の入力、出力、スロットがあり、F7はさまざまな外部デバイスに接続することができます。これらのF7に接続して機能を拡張するためのアクセサリはパッケージには含まれておらず、別途提供されます。ATOTOによりカスタマイズされたアクセサリについては、AmazonのATOTOブランドストアまたはATOTO公式サイト <https://www.myatoto.com> で見つけることができます。ATOTOが提供していないアクセサリについては、自分で入手する必要があります。

### 9.1.通常のアフターマーケット製リアビューカメラに接続する

通常のアフターマーケット製リアビューカメラ、またはATOTO HDリアビューカメラをリアビュー用に、詳細は第7章を参照してください。



[図 55] (AC-4486)



[図 56] (AC-HD02LR)

接続方法: 特定のRCINビデオ入力

### 9.2. 今後のATOTO USB DVR接続性

F7のアプリリストにはDVR-CAMアプリが含まれており、これはATOTO USB DVR AC-44P4との将来の互換性を示しています。この製品がリリースされると、F7の製品説明の情報を更新します。また、AmazonのATOTOブランドストアとATOTO公式サイト <https://www.myatoto.com> でもAC-44P4を見つけることができます。(注: F7では、DVR用のアプリは「DVR-CAM」と名付けられていますが、ATOTO androidカーステレオでは「DVR CAM」と名付けられています。)

### 9.3.ATOTO AC-44F5ワイヤレスステアリングホイールリモートとの連携



[図 57]

ステアリングホイールのオーディオコントロールがない車には、ATOTO AC-44F5ワイヤレスリモートが強く推奨されています。安全な操作のために  
接続方法: ワイヤレス (送信機) + 指定の3.5mmジャック (受信機)

### 9.4.ATOTO AC-HAV50 HDMIからAHDへのビデオコンバーターを使用する:

この便利なデバイスはデジタルHDMIをAHDに変換し、最大720pまでの高解像度をサポートし、没入型シアター体験を提供します。対応範囲はPlayStationゲームコンソールからGoogle ChromecastやApple TVボックスにまで及びます。シンプルなブラッグアンドプレイ設計で、お気に入りの映画や番組、ゲームを簡単に楽しむことができます。F7上で使用可能です。



[図 58] (AC-HAV50)



## 9.5 ヘッドレストモニターに接続する



内蔵のビデオ出力機能を使用して、F7からRCAビデオ出力インターフェースを介して最大2台のモニターに接続し、F7に表示されるものがヘッドレストモニターに同期します。

F7に接続されるヘッドレストモニターは、RCA CVBS信号ビデオ入力を受け入れる必要があります。

**接続方法:** 特定のビデオ出力。

このオプションは、選択したF7モデルでのみ利用可能です。

[図 59]

## 9.6.ATOTO AD6 AndroidベースのCarPlayアダプターを使ってF7を多機能Androidシステムにアップグレードする:

AD6アダプターを使ってCarPlayヘッドユニットをアップグレードし、ダッシュボードに完全なAndroidシステムを追加します。ワイヤレスCarPlayとAndroid Autoを楽しむことができますし、YouTubeやNetflixなどのアプリも使用可能です。さらに、ATOTOの専用GPS追跡アプリ「TrackHUJ」で車両の追跡を行ったり、プリインストールされた「Torque」アプリで車両の診断を簡単に確認できます。



[図 60](AD6)

## 9.7.ATOTO CA-AEC02 パワーパックで音響体験を向上させる:

強力な60W RMS x 4を4Ωで出力するこのコンパクトなフルレンジアンプは、サウンドシステムの出力を大幅に増幅します。高周波性能はすべての音符をキャプチャし、高品質な音響体験を提供します。コンパクトで、インストールが簡単で、ATOTOやアフターマーケット、工場出荷時のヘッドユニットなど、様々な製品と互換性があります。



[図 61](CA-AEC02)

## 9.8.ATOTO CS-651DSTコンポーネントスピーカーとATOTO CS-651DCコアキシャルスピーカーの使用:

CS-651DSTコンポーネントスピーカーとCS-651DCコアキシャルスピーカーを使って、車のオーディオを大幅にアップグレードします。CS-651DSTには6.5インチのウーファー、1インチのツイーター、外部クロスオーバーが付属し、最大250ワットのピークパワーと70WのRMSパワーを提供します。CS-651DCは、40 Hz - 20 kHzの周波数応答、230Wのピークパワー、60WのRMSパワーで明瞭さとバランスを提供します。どちらも、車内であらゆる種類の音楽を生き生きとさせ、毎回ドライブする度にコンサートのような体験を約束します。



[図 62] (CS-651DST)



[図 63] (CS-651DC)

## 9.9.ATOTO CS-101SWスリムアンプ内蔵サブウーファーの使用:

CS-101SW 10インチスリムアンプ内蔵サブウーファーを使って、深く、共鳴する低音を体験してください。150ワットのRMSパワーと400ワットのピークパワーを提供し、豊かな音響体験に没頭させてくれます。調整可能なローパスフィルター、低音ブースト、正確な音調整のための有線リモコンが付属しています。



[図 64] (CS-101SW)

## 9.10.注意点

上記はF7の一般的なオプションアクセサリです。それらは別途提供されます。一部はATOTOによってカスタマイズされ、他のものはATOTOからは入手できず、ユーザー自身で入手する必要があります。



仕様		
部品	仕様	
オペレーティング	RTOS V	
SOCチップセット	AL-F133	
モニター	画面サイズ(インチ): 特定のF7モデルによって、5インチから10.1インチ(対角)まで異なります。	
	表示解像度: モデルにより、HD 800*480、1024*600、または1280*720です。	
	ディスプレイシステム: モデルによりますが、TN-LCD、IPS-LCD、またはQLED(量子膜LEDバックライトLCD技術)のいずれかになります。	
	照明の明るさ: 350 - 600 cd/m2	
ラジオ	受信バンド	FM:65-108MHz、詳細なバンド範囲は地域によります;プリセットステーション: 3*6=18ステーション
		AM:522-1710KHz、詳細なバンド範囲は地域によります;プリセットステーション: 2*6=12ステーション
	RDSデコーダー	はい
	ステレオオーディオDAC	はい
ブルートゥース	Bluetoothバージョン: 特定のモデルに応じて4.2または5.0	
	プロトコル: HFP,HSP,A2DP,AVRCP,PBAP	
	A2DPオーディオ再生のサポート: SBC, ACC	
	チャンネル出力: ステレオ、モノラル	

DSP音響学	チップセット: BD37033	
	EQバンド: スタンダード、R&B、ロック、ポップ、ヒップホップ、ジャズ、ダンス、カスタム	
	周波数: 30/60/125/250/500/1.0k/2.0k/4.0k/8.0k/10.0K/12.0K/16.0k (Hz)	
	ゲイン: -7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/0/1/2/3/4/5/6/7(dB)	
	サブウーファーフィルタ: 0-34dB	
プリアンプ	電力出力	F7基本モデルの場合: 4 x 45w/ 4Ω最大。4 x 25w RMS/ 4Ω @ 14.4 V, 1 kHz, THD 10 %;インピーダンス:4-8Ω
	出力周波数帯	20 - 22000 Hz
メディアの再生	オーディオDAC	D/A コンバータ: 24Bit
	オーディオ/ビデオ/イメージ	オーディオ: AAC/APE/FLAC/ATRC/AMR/ALAC/M4A/MP3/OGG Vorbis/COOK/WMA
		ビデオ: 1080P/ASF/AVI/DAT/FLV/WMV/Sorenson/VOB/M4V/3GP/H263/H264/H265/MKV/PMP/MPG/MPEG1/MPEG2/MOV/MP4/MPEG4/TS/TP/RMVB/Rv8/RV9/RV10/VC1 (720x576)/M2TS
	イメージ: JPEG/BMP/JPG/PNG	

USBインターフェース	フォンリンク	USB 1(<Phone Link>と表示)はCarPlay、Android AutoおよびAutoLink (MirrorLink)接続をサポート
	ポータブルメディア再生	USB1とUSB 2はどちらもメディア再生をサポートし、最大2TBのポータブルSSDデバイス (FAT32/NTFS/exFAT)を読み取ることができます。
出力 & 入力	オーディオアウト	4 x RCAアウト(2V,4V/10kΩ): <FL>/<RL>/<RL>/<RR>と表示
	AUXオーディオ入力	1 x RCAサブウーファーアウト (800mV/10kΩ): <SUB>と表示
		2 x RCAオーディオ入力(左 / 右) (最大2V/25kΩ): <LIN>/<RIN>と表示
	AUXビデオ入力	1 x RCAビデオ入力(1Vp-p/75Ω): <VIN>と表示; CVBS信号とアナログHD信号のビデオソースの両方をサポートします;
	FCAMビデオ入力	1 x RCAビデオ入力(1Vp-p/75Ω): <Front Camera In><前面カメラ入力>と表示; CVBS信号とアナログHD信号のビデオソースの両方をサポートします; このオプションは、選択されたF7モデルでのみ利用可能です;
	リアビューカメラ入力	1 x RCAビデオ入力(1Vp-p/75Ω): <RCIN>と表示; CVBS信号とアナログHD信号のビデオソースの両方をサポートします;
	ビデオ出力	2 x RCAビデオアウト (1Vp-p/75Ω)。<Video Out 1> / <Video Out 2>と表示
SWCジャック	ATOTO AC-44F5ステアリングホイールリモートコントロールと連携	

一般	動作電圧: 12v DCカーバッテリー
	定格電流消費: 15A; スタンバイ電流:10mA
	動作温度範囲: -20°C - +60°C